

理学療法士の 生涯活躍できる環境の整備のための研究

分担研究報告書（令和6年度）

研究分担者 齊藤 秀之（日本理学療法士協会 会長）

研究要旨

医療にかかわる専門職種が生涯安心して活躍できる環境を整備することを目的とし、その基礎情報として理学療法士を対象に、現在の職域を把握するためのWEBアンケートによる実態調査を行った。対象は本会からのメール情報・配信を希望・承諾している会員（自宅会員と海外会員、休会者を除く）53,571名とし、調査期間は令和6年10月28日から11月17日とした。有効回答は1,114名（回収率2%）であった。

本研究により、従来のイメージ通り理学療法士の就労先としては医療・福祉関係分野とそれら専門分野に係る大学や専修学校などの専門教育機関が大多数を占めた。職務満足度は「仕事の内容・やりがい」が最も高く、「給与・福利厚生」、「卒後教育、キャリア段階に応じた教育体制」は低かった。

主とする就労先において医療・福祉、専門教育分野以外で就労する者は31名であった。年齢は40代が32%と最も多かったが、次いで20代・30代が多く、若年層で主とする就労する先の領域が広がっていること、中でも市区町村で働く者が多かった。また、商品製造やシステム開発に関わる者、経営コンサルタント、動物に携わっている者が少数存在した。

対象の約30%の者が主たる就労先以外で就労しており、年齢は20代、30代、40代が同数で多く、いずれも男性が多いが、女性では20代が最も多かった。また、その9割が医療・福祉、専門教育分野の就労であった。医療・福祉、専門教育分野以外では、スポーツ・健康教授業、フィットネスクラブ、等のスポーツ分野で就労する者が多く、幼稚園や高等学校の教育・治療に携わる者も少数で存在した。

今回の結果において、①仕事のやりがいは感じているものの、給与や段階に応じた教育体制に満足を得られていない事は今後の環境整備の視点である。②主とする就労先において、医療・福祉分野以外で従事している者の多くが、40代以下を中心とした中堅層から若年層であり、公的機関に就く者が多い事は職域として強化・拡大の視点である。③いわゆる兼業や副業をしている者は、給与・報酬の不満が多い40代以下が多く、医療・福祉、専門教育機関での兼業・副業がほとんどであることは就労・就業環境の整備・創出の視点である。④スポーツや学童教育への兼業・副業の存在は、職域拡大の視点である。

理学療法士が生涯安心して活躍できる環境を整備することは、今後の我が国の実情を鑑みると喫緊の課題である。これまでに十分検討・整備されていない就労・就業環境の整備・創出や職能強化・職域拡大を実現するために、本研究で得られた結果を更に詳細に把握し、理学療法士内に共有すること、国民・社会一般に認知されるよう取り組んでいくこと、環境整備を法的にも整備することが必要と考える。

A. 研究目的

【背景】

本研究は、医療従事者等が生涯にわたって活躍できる環境を整備するための基礎情報として活用することを目的としており、今後の対策に活かされる実態を把握するために実施した。

理学療法士は、直近10年でそれまでの5倍近いペースで急激に増加し、2025年現在で国家試験合格者累計者数は23万人を超えた。需給に関する現実的・効果的な議論・調整が皆無である現状と、2040年を想定した人口動向や社会保障改革の方向性から考えると、今日主として就労している就労分野だけではなく、これまでとは異なる就労・就業環境の整備・創出や職能強化・職域拡大が求められる。

【目的】

本研究の目的は、現状の理学療法士の就労環境等を調査し、生涯にわたって活躍できる環境を整備するための現状把握と就労環境の見直しと職域拡大のイメージを明確にすることである。

具体的には、主とする就労先の現状と主とする就労先以外の就労環境等を把握し、好事例を可視化することである。特に、就労環境の見直しと職域拡大につながる可能性のある事例、とりわけ医療・福祉、専門教育分野以外に焦点を当て、推進すべき働き方と新たな職域の開拓に向けた指針を提示することを重視した。

B. 研究方法

1. 対象

本会会員のうち協会からのメール情報の配信を希望・承諾している会員のうち自宅会員と海外会員、休会者を除く53,571名とした。

2. 調査方法

Google フォームを用いたWEB アンケート調査とした。設問は、回答者の属性に加え、就労環境、業務内容、職務満足度、国家資格の活用状況など合計22問で構成した(表1)。調査期間は令和6年10月28日から11月17日の約3週間とした。

3. 解析方法

基本統計、クロス集計とした。また、医療・福祉、専門教育分野以外で就労している事例を好事例と定義し、①主とする就労先において医

療・福祉、専門教育機関以外で就労している者と、②主とする就労先以外で就労している者を抽出し、その年齢層や性別、満足度などを分析した。

C. 研究結果

本研究の有効回答者数は1,114名(回収率2%)であった。年齢は、30代が30%、20代が28%、40代が27%の順に多く(図1)、男性が7割、女性が3割であった(図2)。主とする就労先は、医療・福祉分野が88%、大学や専修学校などの専門教育機関が9%、合計97%であった(図3)。満足度は、主とする就労先、主とする就労先以外のどちらも「仕事の内容・やりがい」に関して最も高く、「給与・福利厚生」、「卒後教育、キャリア段階に応じた教育体制」に対する満足度は低かった(表2, 6-7)。

1. 好事例①

対象者は31名であった(表3)。男女比は6:4であった。年齢は、40代が32%と最も多く、次いで20代・30代が共に23%であり、20-30代の若年層で領域が広がっており(表4)、中でも市町村で働く者が多かった。少数であるが、商品製造やシステム開発の関わる者、経営コンサルタント、動物に携わっている者も存在した。

2. 好事例②

調査全体の30%であり、年齢は20代、30代、40代が同数で多く、いずれも男性が多いが、女性では20代が最も多かった(表5)。その9割が医療・福祉、専門教育分野の就労であった(図8)。医療・福祉、専門教育分野以外では、スポーツ・健康教授業、フィットネスクラブ、等のスポーツ・健康分野で就労する者が多く、幼稚園や高等学校の教育・治療に携わる者も少数みられた(表8)。また、いわゆる兼業や副業をしている者の多くは、主とする就労先に対して全体データよりも「給与・福利厚生」に対する満足度が低かった(表6)。

D. 考察

今回の結果は、本会会員の年齢分布傾向と同様に若年層の状態を反映したと考える。

仕事のやりがいは感じているものの、給与や段階に応じた教育体制に満足を得られていな

い点は環境整備の視点となると考えられる。

主とする就労先において、医療・福祉分野以外に進出している者の多くが、40代以下を中心とした中堅層から若年層であり、公的機関に就く者が多かった事も職能や医療・福祉分野での経験や学びを活かしやすい職域として強化・拡大の視点を示唆するものと考えられる。

また、いわゆる兼業や副業をしている者は、給与・報酬の不满が多い40代以下が多いことが推測され、資格を活かしやすい医療・福祉、専門教育機関での兼業・副業がほとんどであることは就労・就業環境の整備・創出の視点と考えられる。また、スポーツや学童教育への兼業・副業の存在は、職域拡大への示唆と考えられる。

E. 結論

医療・介護分野、専門教育以外を主の就労先としている者や、いわゆる兼業・副業という形態で生涯安心して理学療法士として活躍する環境を構築している会員の存在が明示された。

また、理学療法士としての広い意味での臨床技能や対人能力を活かした新たな分野で活躍し始めていることも確認できた。一方で、今回は会員内に限定した調査であることが本調査の限界である。会員外に対象者を広げることで、より興味深い実態が把握できると考えられる。

今後は本研究の成果を基に、好事例として抽出された領域において、より詳細な経緯や就労・就業契約の実情などのヒアリング調査および現地視察を実施し、詳細な就労環境・状況を分析していきたい。また、これらの情報を理学療法士内で共有、発展させ、横展開の可能性を検討するとともに国民・社会の認識向上に努めるとともに、生涯安心して活躍できる環境を整備するために必要な法的整備を求めていくことも重要と思われる。

F. 健康危険情報 なし

G. 研究発表 なし

H. 知的財産権の出願・登録状況（予定を含む）

1. 特許取得 なし

2. 実用新案登録 なし

3. その他

図表一覧

図1. 回答者の年齢分布

図2. 回答者の性別

図3. 回答者の最終学歴

図4. 回答者の最終学位

図5. 回答者の国家試験取得からの経過年数

図6. 主とする就労先の業態分布

図7. 主とする就労先の職務内容への国家資格の活用実感

図8. 主とする就労先以外の業態分布

表1. アンケート調査項目

表2. 主とする就労先における満足度

表3. 主とする就労先が医療・福祉、専門教育分野以外の業態

表4. 主とする就労先が医療・福祉、専門教育分野以外の者の年代別性別

表5. 主とする就労先以外で就労する者の年代別性別

表6. 主とする就労先以外で就労する者の主とする就労先に対する満足度

表7. 主とする就労先以外で就労する者の主とする就労先以外に対する満足度

表8. 主とする就労先以外での就労業態が医療・福祉、専門教育分野以外の業態分布

理学療法士における職域の実態を把握するための調査 図表

表 1. アンケート調査項目

1. 回答者属性	年齢、性別、最終学歴、最終学位、国家資格取得からの経過年数
2. 主とする就労先における就労環境について	
3. 主とする就労先以外における就労環境について (2 か所以上の就労先がある者) 以下、1)～4)	
1) 就労先での状況 (選択・記述式)	就労先の業態、業務内容とその対象者 (性別、年齢層、容態)、活動内容、勤務先の所在都道府県、勤務先での職種、勤務先における役職
2) 就労先における満足度 (5 件法)	給与・福利厚生、労働時間、職場の雰囲気・人間関係、職業の安定性、仕事の内容・やりがい、仕事上での裁量権、入職時の教育体制、昇進後の教育体制、職能を高める教育体制
3) あなたの国家資格は現在の職務内容に活かしているか (5 件法)	
4) 現在の職務内容が職能としての経歴・経験になるか (5 件法)	
5) 現在の職務内容について今後も転職せずに働き続けようと思えるか (5 件法)	

図 1. 回答者の年齢分布

1,114 件の回答

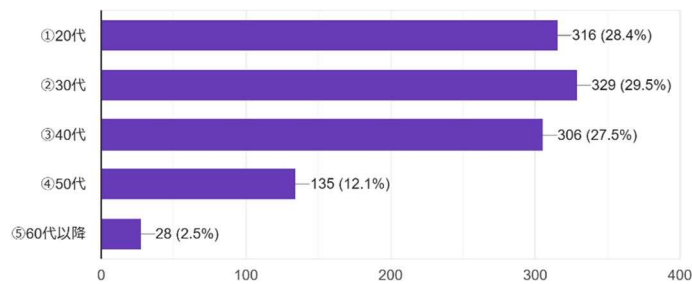


図 2. 回答者の性別

1,114 件の回答

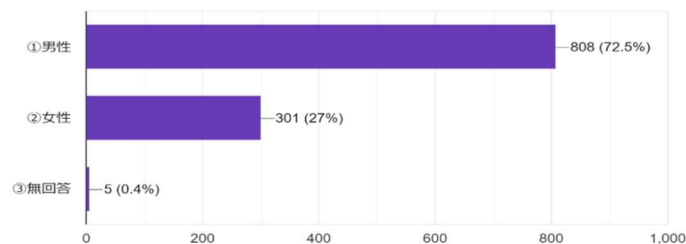


図3. 回答者の最終学歴

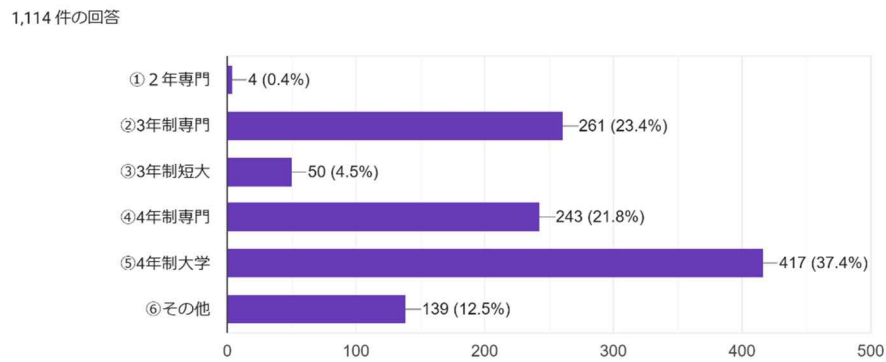


図4. 回答者の最終学位

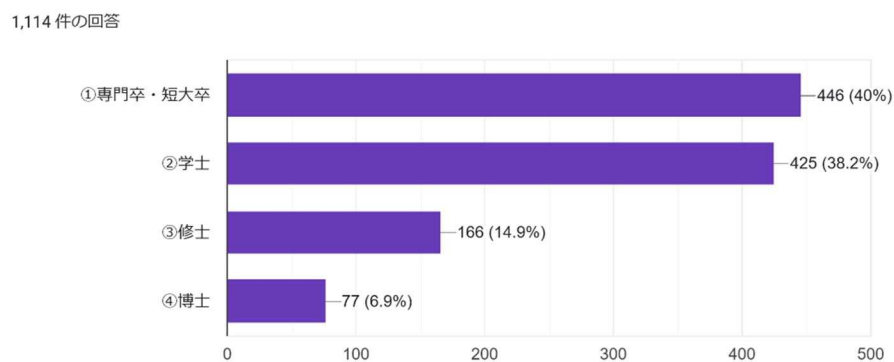


図5. 回答者の国家試験取得からの経過年数

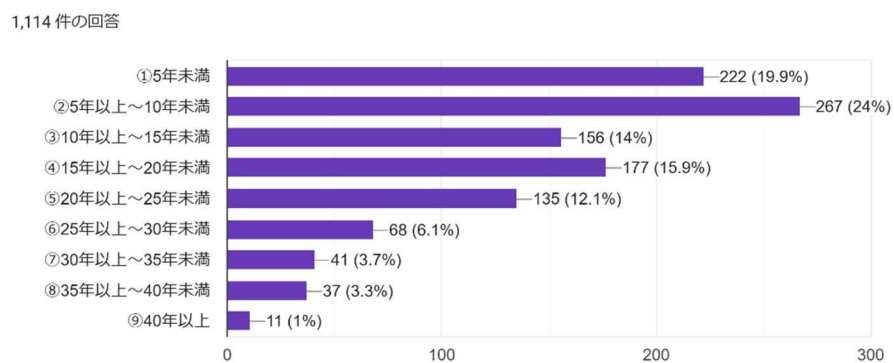


図6. 主とする就労先の業態分布

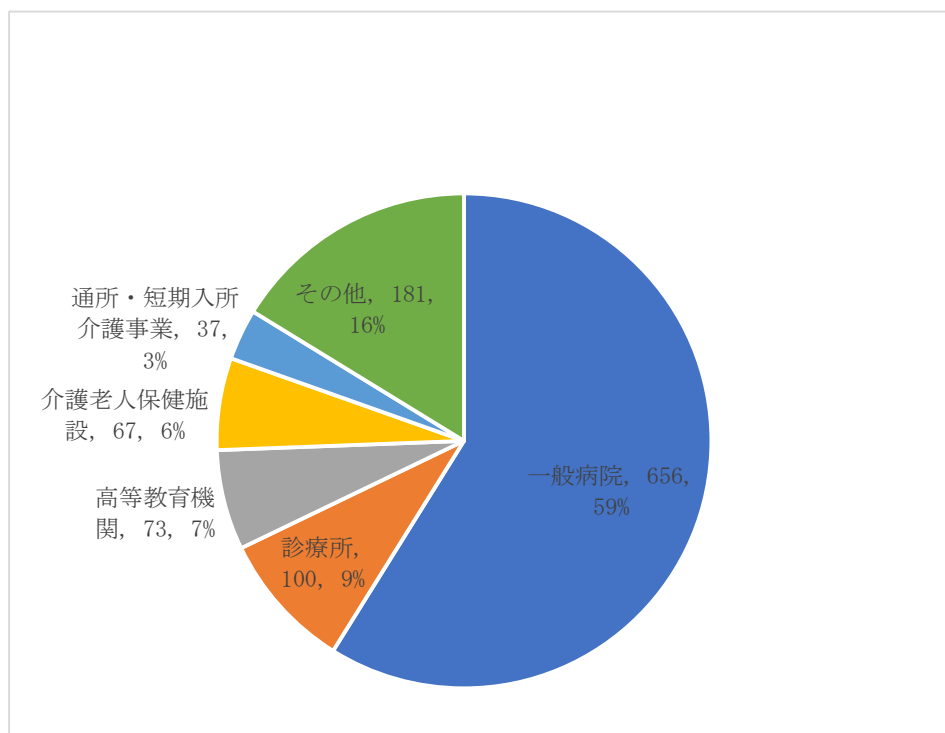


表2. 主とする就労先における満足度

給与・福利厚生	労働時間	職場の雰囲気・人間関係	職業の安定性	仕事の内容・やりがい	仕事上で の裁量権	入職時の 教育体制	昇進後の 教育体制	職能を高める教育体制
2.72	3.33	3.49	3.40	3.69	3.27	2.80	2.57	2.67

*表内数字は平均値

図7. 主とする就労先の職務内容への国家資格の活用実感

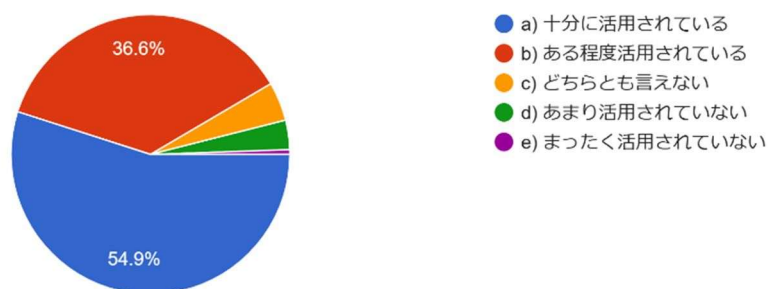


表3. 主とする就労先が医療・福祉、専門教育分野以外の業態

医療用機械器具製造	1
他に分類されないその他の製造	4
経営コンサルタント	1
高等教育機関の支援機関	1
スポーツ・健康教授	1
労働団体	2
他に分類されない非営利団体	1
都道府県の機関	2
市町村の機関	16
分類不能の産業	2

*表内数字は人数(人)

※他に分類されないその他の製造の内訳

- ①WEB 会議、商品開発、営業等
- ②再生医療製品の製造
- ③自動車の研究開発
- ④システム開発の助言、システム導入にあたっての病院運営の助言

※分類不能の産業の内訳

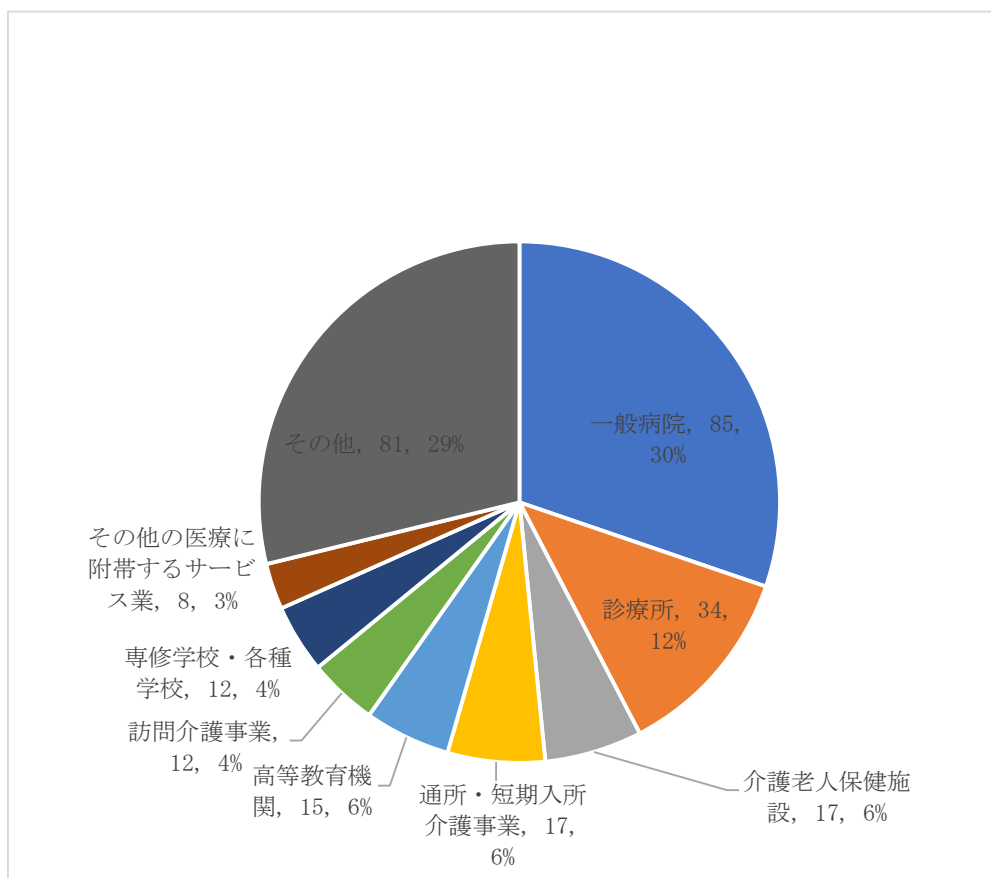
- ①一般企業にてコンサルタントとして勤務しています
- ②動物に対する理学療法

表4. 主とする就労先が医療・福祉、専門教育分野以外の者の年代別性別

	男性	女性
20代	4	3
30代	6	1
40代	5	5
50代	2	3
60代以上	1	1

*表内数字は人数(人)

図8. 主とする就労先以外の業態分布



*図内数字は人数(人)、割合(%)

表5. 主とする就労先以外で就労する者の年代別性別
(人数)

年代	男性	女性
①20代	43	27
②30代	56	12
③40代	57	11
④50代	28	7
⑤60代以降	11	1

*表内数字は人数(人)

表6. 主とする就労先以外で就労する者の主とする就労先に対する満足度

給与・福利厚生	労働時間	職場の雰囲気・人間関係	職業の安定性	仕事の内容・やりがい	仕事上での裁量権	入職時の教育体制	昇進後の教育体制	職能を高める教育体制
2.57	3.26	3.44	3.22	3.71	3.21	2.75	2.50	2.62

*表内数字は平均値

表7. 主とする就労先以外で就労する者の主とする就労先以外に対する満足度

給与・福利厚生	労働時間	職場の雰囲気・人間関係	職業の安定性	仕事の内容・やりがい	仕事上での裁量権	入職時の教育体制	昇進後の教育体制	職能を高める教育体制
2.80	3.46	3.53	3.22	3.70	3.16	2.83	2.67	2.71

*表内数字は平均値

表8. 主とする就労先以外での就労業態が医療・福祉、専門教育分野以外の業態分布

フィットネスクラブ	2
幼稚園	1
高等学校	2
スポーツ・健康教授業	7
市町村の機関	5
分類不能の産業	7
その他の管理、補助的経済活動を行う事業所	1
管理、補助的経済活動を行う事業所	1
他に分類されない娯楽業	1
その他の職業、教育支援施設	1
他に分類されない教育、学習支援業	1
学術団体	4
政治団体	1
他に分類されない非営利的団体	1

*表内数字は人数(人)